

陳 情 第 7 号
2019年 5月 27日

国立市議会議長 石井伸之 様

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情

陳情の趣旨

私たちの暮らしや地域経済はいま、大変深刻な状況です。消費税の8%増税以降、個人消費のマイナスが続いています。増税と、医療・介護など社会保障費負担増、そして年金カット・賃金低下、物価上昇の三重苦のもとで、「もうこれ以上節約するところがない」と悲鳴が上がっています。自治体の財政も消費税が大きく圧迫しています。

ところが政府は、2019年10月の消費税率10%への引き上げをあくまで行う姿勢を崩していません。このような状況で消費税を引き上げれば、税率が5%から8%になったときの大不況が再来します。また、「軽減」と宣伝されている複数税率による混乱も心配されています。

私たちは、住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税増税を中止することを強く求めます。

以上の趣旨から下記事項について陳情いたします。

陳情事項

一、2019年10月の消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書を政府に送付していただくこと